



ワールド・バルーン・コンベンション

## World Balloon Convention

W B C



テキサス州ダラス

In America

日時: 2010年4月15日~18日

場所: アメリカ(テキサス州ダラス)

パイオニアバルーンカンパニー主催の下、来季2010年春に  
バルーンコンベンションの開催が決定致しました。  
IBACを彷彿させる大規模なイベントになるでしょう!  
バルーンデコレーション発祥の地アメリカで、世界中のバルーン  
プロフェッショナル達が集う!

更に、WBCフルパッケージで参加される方には、ダラス工場  
見学ツアーの特権もあります。  
日本の皆さんも是非ご参加ください。



WBCホームページ参照

英語

<http://www.worldballoonconvention.com/>

日本語

<http://kishi-gum.co.jp/pdf/WBC.pdf/>

ご質問等は、岸ゴム株式会社バルーン事業部 TEL052-588-5911  
またはパイオニアバルーン藤沼までメールでお問合せください。  
hiroka.fujinuma@pioneerballoon.com

ジ  
ヤ  
パ  
ン  
バ  
ル  
ー  
ン  
タ  
イ  
ム  
ズ

風船業界紙

2009年

第9号

協力: 日本バルーン協会

制作: 岸ゴム株式会社



# バルーンショップ紹介

豊富な経験をもつコレクションワークの『バルーンショップカーニバル』

今回は、(有)コレクションワークさんが経営する『バルーンショップカーニバル』のご紹介です。当業者のバルーン暦は1996年〜現在に至り十三年と実績は十分。バルーン業者としては主に施工分野を得意とする中、2001年よりショップ事業を立ち上げる。

当ショップはショッピングセンタージャスコ内に立地しており、幅広い年齢層の客層が来店される。ショップ設立当初は、地元九州店舗よりはじめ大成功を収め、その後起動に乗り中部エリア圏を含み、最大7店舗までの店舗展開を繰り広げる。



統括責任者の山本チーフ

お店のコンセプトはゴム風船1個から買えるお子様から、ギフト・デコレーションとして利用する大人まで幅広いお客様をターゲットに様々なニーズに 대응する事。また、バルーン専門店としてオリジナルティのある商品作りを日常心がけている。さらに大事な事としては、スタッフのスキルレベルを重視する。お店にとって一番重要なことはお客様をケアするスタッフと考える。

会社の中でも山口専務の右腕として、バルーンショップを含む5店舗の統括責任者として活躍する山本チーフは、まさにショップの顔としての人物象徴的存在。

編集者 中島善孝



\*バルーンショップカーニバル パークプレイス店\*

現在では、地元密着型の方針へ移行し、本社大分県のパークプレイス店と、佐賀県佐賀大和店の2店舗に絞り込む。特にパークプレイス店(写真参照)はジャスコ1Fの中心地にあり、好条件の場所に店舗を構えている。店を訪れると当ショップが視界に入り、一際目立つ空間となっている。お店の面積は7坪とバルーンショップとしては最適な広さ。売れ筋のアイテムは、バルーンショップならではの、ゴム風船単品をヘリウムガス注入したものであり、月に400〜500個程度売れる。他にはフィルム製のスティックバルーン無地・キャラクターなども良く売れる。またギフト向けのアレンジは月に五〇個以上のペースで売れ、バルーンブーケはペースデーギフトを中心に万遍なく注文が入る。週末にはウェディングギフトが好評。



吹き抜けた空間は、どこからでも目立つ場所にある



# クリスマスの歴史と年末商戦



クリスマスシーズンに入り、街はクリスマスムード一色になっています。

「クリスマスカラー」といえば、赤、緑、白がよく使われていると思いますが、これらにはそれぞれ意味があります。

・赤Ⅱ愛と寛大さ（キリストの血の色）

・緑Ⅱ永遠の命（常緑樹の緑）

・白Ⅱ純潔・純白、春を待つ希望（雪にかけて）と言われています。

これらはクリスマスの定番色ですが、これ以外にも光のイメージでゴールド、シルバー、夜空をイメージしてブルー、といった色も人気があります。他にも、その時々々の流行にあわせてピンク、オレンジなどを使うことあるようです。クリスマスツリーに飾るオーナメントも、定番のものには

・先端の星Ⅱキリスト生誕時に輝き、賢者（王、学者）を生まれた地へ導いた星とされ、希望を表す

・ベルⅡキリストの誕生（救い主の到来）を知らせる天国からのあいさつの喜びのベル、魔よけ

・赤い玉Ⅱ知恵の実（リンゴ）、豊かな実りや幸福

・キャンディケインⅡ羊飼いの杖をかたどったもの、助け合いの心をあらわす

・ヒラギⅡキリストが磔にされたときの冠

といった意味があります。近年では西洋で流行した本物のお菓子を飾りつけるオーナメントが人気だったり、昨年は流行色のパープルの使ったツリーも出てきたりと、クリスマスの飾りつけも色々なバリエーションに富んでいます。

日本では明治時代からすでにその風習が始まっていたクリスマスはすでに受け入れられてから百年以上が経過し、クリスマスを含んだ年末商戦は小売店の年間売り上げの20〜40%を占める、と言われています。

今年のクリスマスは昨年に引き続き「自宅で家族と過ごす」傾向が強く、派手な出費は控える人が多いとの見方ですが、クリスマスに限らずバースデーなどでもホームパーティが浸透しだしている昨今、逆にホームパーティ向けの商材を売り出す大きなチャンスとも捉えられるのではないのでしょうか。